

THE Y'S MEN'S CLUB OF KUMAMOTO

ひがし

2014

11

チャーター 2004.4.25

No.127

C/O KUMAMOTO YMCA NAGAMINE FAMILY
3-1-107 NAGAMINE MINAMI KUMAMOTO 861-8039
TEL 096-385-0676 FAX 096-385-0649

TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT

第1例会 第1月曜 熊本テルサ (17:00~19:30)

第2例会 第3土曜 ながみねYMCA (17:00~19:00)

国際会長 主題 「言葉より行動を」 標語 「今すぐやろう!」 アイザック パラシンカル (インド)
アジア会長 主題 「未来を始めよう、今すぐに」 標語 「ひとつのアジア、世界はひとつ」 岡野 泰和 (大阪土佐堀)
西日本区理事 主題 「響き合い、ともに歩む」
—こころ豊かにワイズ活動を展開し、ワイズスピリットをつないでゆく— 松本 武彦 (大阪西)
九州部部长 主題 「あなたからわたしへ わたしからあなたへ」 亀浦 正行 (熊本にし)

熊本ひがしクラブ

会長主題: 「美しく生きる」

第11代会長 横田 博

スローガン: 「マイペースで輝こう」

天草で九州部部会開催



11月
強調月間

Public Relations

Wellness

イエスは答えになった。「人はパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる」と書いてある。」(マタイ福音書4:4)

マルチン・ルターを描いた映画「ルター」を観ました。ルターはそれまでのカトリック教会のあり方(免罪符など)に疑問を持ち、問いかけた人です。「宗教改革」とプロテスタントはいます。

ルターは聖書に従い、神様に忠実に生きた人だと思いません。しかし悩みがなかったわけではありませんでした。撤回を要求され、深く悩み、苦しんだと思います。しかし、揺さぶられたり、試されていく中で信仰は育っていくのだと思えました。苦しいときにも、神さまは見捨てることなく、必ずわたしと共にいてくださるのだと改めて思いました。

魂は、神のことば以外の何物によっても生きることができないことを、わたしたちは確信し、信頼しなければなりません。(ルターの著作より)
(平山美保)

今月の聖句

10月例会
出席記録

在籍会員数	23名	第1例会	12名	第2例会	11名	メイカップ	2名
例会出席率	74.0%	出席総数	28名	ネット、コメント	6名	ゲスト・ビジター	10名

会長通信

共 感

会 長 横 田 博



11月、実りの秋です。学びの秋です。今月の例会は学ぶ例会となりました。ひがしクラブ・神谷ワイズによる、子ども達の放課後の居場所について、共に考えましょう。神谷ワイズが仕事をしているなかで、感じておられることを伝えていただきます。以前からながみねFYMCAも考えてきたことですが、会員の意識を新たに整えたいものです。よろしくお願ひします。

「希少難病患者」の方の社会的立場を大切にすることを目的としたDVD視聴を行います。菅ワイズに医師としての立場から、解説もお願いしています。

そして「スペシャルオリックス」。我がワイズメンズクラブはこれまで熊本での大会のお手伝いなど、交流をしてきました。また菅ファームの葡萄作りの指導者・宮さんのお嬢さんは、SO水泳で活躍しておられます。今回、熊本の事務局長をしておられる石原靖也様にお話をお願いしています。

歌野ワイズがコラムに「共感型寄附促進」という内容で書いておられます。寄附を募るうえではもちろんですが、活動においても納得してもらえ、いやそれ以上に自分も一緒にやろうと思ってもらえるのに、「共感」ということは大切なポイントだと思います。共感することにより、他人事ではなくなり、自分のことになる。それによってその人の行動、思考が変わっていくからです。何故人々は共感し合うのでしょうか。おそらく、自分だけでは、一人だけでは生きていけないことを、人は知っているからだと思ひます。

本日の一つ一つの学びが、わたしたちの糧となりますように。わたしたちが生きていくことと、学んだことが別々のままではなく、「共感」してわたしのこととして生きていきたいと思ひます。

考 EMC

EMCを考え、行動していくのに間口は色々あると思ひます。どんなかたちでもよいから、YMCAに出会い、ワイズメンズクラブを知ってもらいたいと思ひます。友人を通じて、こどもの活動から、祭などの行事を通して、などなど。

10月30日（木）、熊本YMCA2014年度国際青少年育成歳末募金運動が始まりました。キックオフ集会には約70名が集い、運動のスタートから盛り上がりを感じます。参加者は、職員のほかに常議員、運営委員、ワイズメンが主ですが、企業にも貢献活動の一つとしてご参加をお願いしておりましたところ、多くの企業から参加してくださいました。菅会長のメッセージや田中俊夫FD委員長のアピールなどもあり、YMCAは何をするところか、というところも少しはつかんで下さったのではないかと期待しています。こういう場合こそ、大切にしてEMC拡大に繋げていきたいものです。

「YMCAにはこれだけの、いやこれ以上のボランティアが関わっているのか」、ということを知ってもらいたい。そのうえで更に「自分も！」と思ってもらえるような強烈な、ことばとそれだけではないメッセージ力が必要です。それは何か。考えていくと「パッション・情熱」だと思います。自分の利益を求めず、「ほんとうの使命実現」のための情熱。目には見えず、ことばで表現することも難しいが、

しかし語る人をそのままあらかず「情熱」。人間性のあらわれてしまう「情熱」。人と人が出会い、関わりを深めていく上でこれが伝わり、働き、包み込んでいく。この情熱を常に自分の中に持ち続けたいと思ひます。

人にはいろいろな時があります。自分にとって「時がよくても、悪くても、」助け合い・支え合う社会実現のために力を合わせていきましょう。

ワイズのEMC拡大は、人のパッションと共に。パッションによって。（熊本YMCA副会長 平山俊生）



第一例会報告

ながみねFの徳永さんと江さん



久々のテルサでの例会でしたが、ビジターの参加も片山さん、宮本さんと新入会予定者（？）があり、気合の入った例会になったと思います。内容も「東ティモール訪問報告」「東ティモール大使熊本訪問報告」また「益城ルネサンス熊本FC九州リーグ優勝報告並びに皇后杯出場、チャレンジリーグ入れ替え戦日程」等の色々な発表があり、正にワイズの活動を知ってもらったのではないかと思います素晴らしい例会になったのではないかと思います。



岩本悟ワイズ紹介の片山さん



宮崎ワイズ紹介の宮本さん(右)

東ティモール支援はまさに天佑というか、職員リーダー訪問後、間髪を入れず大使が熊本においでになるという様なことがあり、これから本当の意味でYMCAが本領発揮しこれからの支援の在り方を具体化し、ながみねYMCAとひがしクラブが支援して行く絶好のチャンスになったと思います。今後全力でサポートして行きましょう。

それから益城ルネサンス熊本FCについても今期は「圧倒的な強さ」で九州リーグを制覇し、いよいよ「なでしこ二部リーグ」のチャレンジリーグへの3度目の挑戦になります。ひがしクラブも3年前より支援しています。捲土重来、今期こそ昇格してロアッソ熊本と男女女子のリーグこそ違え、同じカテゴリーに入り熊本に於ける女子サッカーの発展に寄与してもらいたいと思います。それを我がワイズメンズクラブでは是非支援出来ればと思います。

益城ルネ・森脇さんと竹内さん



今回はこれまた久々に2次会に「五郎八」に行き、ビジターの兩名と膝突合せて話すことも出来とて、有意義な時間も持てたことは非常に良かったです。これからも沢山のビジターの参加を是非皆さん宜しくお願いします。まずは知ってもらう事が大切です。昔ワイズからも新クラブを今期作る話が出ていました。私もYMCA水前寺幼稚園を核とするワイズメンズクラブの必要性は常々亀浦ワイズと話していましたが、場合によっては今期スピリットクラブに参加出来ませんでしたので、「チャーターメンバー」として是非参加したい気持ちも大きいです。まずはその為にもメンバー増強を図らなければなりません。話しを出したのが「ひがしクラブ」となれば再度2年連続で「チャータークラブ」となるかもしれません。大変なことです。是非成功させましょう。

(直前会長 宮崎隆二)



中国・杭州YMCA創立100周年

熊本YMCA・菅会長 中国へ



10月18日～19日、「社会奉仕100年、思いやりを受け継いで」の大会標語のもとに開催された杭州YMCA創立100年に、姉妹YMCAの一つとして招待を受け、20年ぶりに中国訪問の機会を与えられ感謝しています。熊本YMCA前総主事・堤弘雄ご夫妻と中国航空で出発したのですが、出国時刻の変更などあり、上海空港到着は午後6時でした(歓迎晩餐会、間に合わず。更に3時間かかって杭州へ。ホテル夕食)。

中国社会では若者たちの中でキリスト教信仰が拡大中で、讃美を力強く歌う香港YMCA青年のパワーを目の当たりにしました。

今回は来賓が多く、今後の交流のあり方についての意見交換は出来ませんでした。ドイツ人スタッフの指導で創立され、中国社会にあってYMCAの使命実現に奉仕と貢献を続けてこられ、これからは未来に向けて発展を誓う姿に、勇気と力をいただいて帰ってきました。(菅)

第33回 九州部部会

9月28日(日)、上天草市大矢野町の亀屋ホテル華椿において、第33回九州部部会が開催されました。

熊本ひがしクラブから横田会長、宮崎EMC事業主査、菅、加藤、歌野、平山美保の各ワイズと横田メネット会長、菅、大澤、堀原メネット、横田栞理コメントの11名が参加しました。全体では180名を超える部会となりました。

11時から今期第2回九州部評議会とメネットアワーがありました。評議会では6議案が審議されましたが、全て満場一致で可決成立しました。注目の議案は次々期(2016-17年度)九州部部長に宮崎隆二ワイズが選任されました。

午後1時からの部会はバナーセレモニーで始まり、亀浦部長の挨拶、松本区理事、菅熊本YMCA会長の来賓祝辞とつづき、九州部・水元書記から評議会報告、九州部・亀浦メネット事業主査からメネットアワーの報告がありました。

第2部は講演でした。龍谷短期大学社会福祉学科教授・窪田和美先生が「地域文化と宗教～経済活動にみる近江商人のエートス～」の演題で30分間の話をされました。

休憩・入浴タイムの後、午後5時から懇親会が始まりました。韓国・大邱コーラルクラブ合唱団演奏、恒例のワイズ劇団公演でとても盛り上がり盛況でした。

来年の大阪での西日本区大会、京都でのアジア大会やクラブ周年例会のアピール、懇親会の後、フェロウシップアワーがもたれ、各地のワイズメン、メネットが楽しく交流を深めた1日でした。

(歌野清三)



ファンド事業 ジャガイモファンド



ひがしクラブメネット会がこのじゃがいもでの手作りコロッケ60個を、10月30日(木)のYMCA・FDキッチンオフ集会に提供しました。堀原メネットのサラダと合わせて大好評で、あっという間に「売り切れ」しました。



10月17日(土)今年も北海道から海をわたり陸を走って、じゃがいもが到着しました。

写真係が到着したときは、すでにトラックからの荷下ろしが完了。間に合わず！すみません。

今年のジャガイモの味は上々で、評判もよろしいようです。毎年買ってくださいの方も、「おいしいです！フライドポテトにして食べてます」と誉めてくださいました。

自慢のじゃがいも料理が食卓に並んでいる頃と思います。(平山)



メネットコーナー

九州部部会 メネットアワー

9月28日(日) 11:00~12:30 亀屋ホテル華椿

メネット事業主題「私にできること あなたにできること」

心の声に耳を傾けメンとメネット二人三脚でいきましょう！

雲一つない青い空、海は青く山を吹く風も青い。静かなキリシタンの都・天草で開催されました。理事・松本武彦(大阪西) 来賓挨拶。メネット事業計画について、メネット事業主任・西村寛子(京都プリンス) より発表。希少難病患者の現状について学びました。理解を深め支援の輪を広げる必要性を思いました。

九州部メネット主査・亀浦尚子中心に、やさしい輪が結び合い、絆を大切に力強く団結し、活動できるようにメンとメネット二人三脚でいきましょう！ 参加者は横田メネット会長、菜理コメット、菅、大澤、加藤、堀原メネットの6名。総勢40名でした。熊本にシクラブメネット手作りの味噌をおみやげに頂きました。感謝。

(メネット 堀原園江)



メネットナイト in 悠旗

横田メネット会長
開会の挨拶



今年も諸事情により遅くなりましたが、じゃがいも配達の後には、ながみね祭で協賛して下さった居酒屋「悠旗」(ゆうき) にて行うことができました。

メン・メネット・コメット総勢14名が揃い、楽しい会になりました。例会とは違い、ゆっくり話をすることができました。前期メネット会長への御礼をし、今期メネット事業主題の取組みについても話し合いました。

今期のメネット事業主題「メンとメネット二人三脚で・・・」、事業方針として「家族と共に参加できる奉仕クラブ」であるワイズメンズクラブの本質に立ち・・・とあります。ひがしクラブでは、設立当初からメン・メネット・コメットもいっしょに活動してきました。例会のおもてなしはもちろんのこと、ながみね祭・じゃがいもファンデ・防災フェア・ぶどうの農作業等々。

今期も今までの活動とともに、メネット事業の国内プロジェクトである「希少難病患者」の理解と支援の勉強を11月例会にて、メンともにもすることになりました。そして、熊本地区メネット交流例会に臨みたいと思います。

9月のメネット強調月間には遅れましたが、有意義なメネットナイトができたことをうれしく思います。

(メネット会長 横田治美)



集まったメネット・コメット

メネットナイトで、じゃがいも得意料理を話していました。それぞれ「わたしはこういう料理を」と色々出て、コロッケ作りの話になりました。「コロッケはみんなで作るといいなあ」と言っているとその方向で話が進み、FDキックオフ集会に、クラブメネット会でコロッケを提供しようかと決まりました。当日朝10:30から夕方までかかった愛情力作です。



「YMCA・ワイスの源流」の学び！ ⑬



金森 通倫 (かなもり みちとも)

1857 (安政4) 年8月15日～1945 (昭和20) 年3月4日
 牧師、社会教育家。熊本県玉名郡小天天水村 (現天水町) に生まれる。
 熊本バンド結盟に参加。

1871年、竹崎律次郎の日新堂に入るが、翌72 (明治5) 年8月熊本洋学校第2回生として入学。ジェーンズ、L. Lの教育を受け、76年1月花岡山奉教結盟に加わる。同年、宇治茶製法修行を名目に京都に出、9月同志社学校に入学。12月3日京都第二基督公会 (同志社教会) において新島襄から受洗。79年予科を卒業。翌年10月岡山教会の創立に際し、按手札を受けて初代牧師となる。81年日本基督伝道会社委員となる。以来、高梁、天城、倉敷、笠岡と巡回伝道、各地の教会設立に力を尽くした。

86年同志社の招聘により神学校教授に就任。87年一致、組織合同教会の合同運動推進の組合側委員となる。この年7月西山小寿と結婚。88年9月新島襄を助けて社長代理に選任される。89年6月には普通学校、同志社神学校、予備校3校の校長を兼任した。その間、同志社の「一銭講」、「二円講」を始め、更に同志社大学設立募金運動に尽力。

90年1月新島襄の死後、社長事務取扱となるが3月辞任。この頃より自由神学に傾き、上京し、7月東京番町教会牧師となる。91年『日本現今之基督教並ニ将来之基督教』を出版して新神学の信仰を公表し、翌年4月そのために日本組合基督教会を脱会した。その年自由党に入党し、『自由新聞』の主筆となる。94年自由党を去って実業界に入り、95年三井鉱山会社に入社、武相鉄道、東京米穀取引所など実業界で活躍。

99年相場に失敗し、1901年8月北海道庁の嘱託となり全道の貯蓄推奨運動に着手、1902年に『貯金のすすめ』を出版。04年2月大蔵省嘱託として全国的貯蓄遊説を始め、10月以降は内務省嘱託となって地方改良・勤儉貯蓄奨励運動を展開。

12年5月妻・小寿の没後、信仰を取り戻し、組合教会に復帰し、翌年内務省を辞め、14年山室軍平の救世軍に入隊して金森特務運動を展開。17年には救世軍を脱退し、やがて諸教会連合全国伝道を始めた。27年3月東洋宣教会日本ホーリネス教会に入会、百万救霊を唱え金森伝道を展開したが、32年3月ホーリネスも脱会した。この間、アメリカ、オーストラリア、ニュージーランドなどの海外伝道を積極的に進め、名は海外にも知られた。

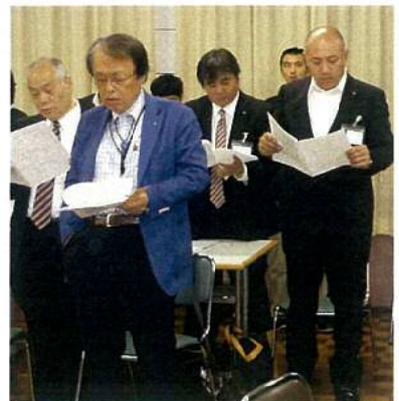
33年引退。湘南の嶺山に隠居して洞窟生活を送り、「今仙人」と称された。福島県郡山で永眠。波乱に富んだ生涯を送った。自民党・石破茂地方創生担当大臣の曾祖父にあたる。(文・企画 歌野清三)

YMCA サービス

国際青少年育成歳末募金運動 キックオフ！



10月30日 (木)、今年の募金運動が始まりました。今年の目標額は昨年の1,200万円を上回る1,500万円です。午後7時からのキックオフ集いに約70名が集いました。呼びかけに応じて、サントリーから藤田さん、泉さんがご参加。ペットボトル伊右衛門を提供して下さいました。メネット会の手作りコロッケ (写真左) や皆さんからの料理、飲み物も感謝です。



菅正康会長の「YMCAのほんとうの使命を果たすために、我々ボランティアだからできる協力がある」という力強い呼びかけを受けてキックオフ！ (平山俊) ひがしクラブ参加・池田、岩本、歌野、加藤、菅、塩谷、白木、中村、野田、平山、宮崎、横田、堀原

良く生きる

共感型寄附促進を考えましょう!

歌野 清三

熊本YMCA・菅正康会長の目玉「寄付文化の醸成」(2年目)、1500万円の目標を掲げ、国際協力青少年育成年末募金運動がキックオフしました(10月30日)。熊本ひがし・横田会長もファンデベロップメント委員として活躍していますので、我がクラブも気を引き締めて取り組まなければと考えます。

寄付文化については、過去3回このコラムでも意見を述べさせていただきました。

2011年3月11日、東日本大震災に対しては全国で8512万人が金銭や物資を寄付し、約6000億円というそれまでの通年寄付総額に匹敵する水準だったそうです。やはり被災者や被災地のために、何か自分にもできないかと納得がいくなら助けたい、応援したいという気持ちが大切だと思います。

このように多くの人々が共感できる事例への支援を促進することに配慮し、善意がささえる文化として根づけるために、明確な用途の開示を誰もが納得いくように心がけてほしいと考えます。わが国では、フィランソロピー教育が徹底していないため、毎年100万人の子どもたちが「寄付って?」と感じたまま大人になっていく現状にあるそうです。社会貢献の大切さを教える教育政策の変更、改革が必要だと思えます。

YMCAに学ぶプログラム少年にだけでも寄付教育の指導ができないでしょうか。テスト・モデルケースを検討してみたいと考えます。

ハッピーバースディ&アニバーサリー

11月バースディ

1日 大澤 博文 9日 白木実希子
11日 門永真由美 23日 岩本 克恵

11月アニバーサリー

22日 田上裕章&かな子
23日 門永充弘&真由美

- | | | |
|---|------------|--------------|
| 1 | いざ立て 心あつくし | 手を挙げ 誓い新たに |
| | われらのモットー守る | ふさわしその名ワイズメン |
| | 絶えせず めあて望み | この身を捧げつくさん |
| 2 | 歌えば 心ひとつに | ともがき ひろがりゆきて |
| | 遠きも近きもみな | ささげて立つやワイズメン |
| | 栄えとほまれ豊か | まことは胸にあふれん |

なごりはつきねど つどいは果てぬ
きょうひとひのさち しずかに思う

11月例会

11月4日(月) 19:00 熊本テルサ
開会宣言・点鐘 司会 門永 充弘
メネットソング「メネットのねがい」 会長 横田 博
ワイズメンズクラブ目的唱和 全員
会長挨拶 横田 博
ゲストビジター紹介 司会者
学び「放課後、子ども達の居場所は?」
社会福祉士(熊本ひがし) 神谷 公省氏
学び「希少難病患者を孤立から防ぐ」
DVD視聴と菅ワイズの解説
卓話「スペシャルオリンピックスとの関わり」
石原 靖也氏
食前感謝 堀原 園江
乾 杯 メネット会長 横田 治美
ハッピーバースディ&アニバーサリー
諸報告
なごりはつきねど
閉会点鐘 会長 横田 博

11月の予定

11月4日(月・祝) 神水教会バザー ぎょうざ焼
11:00~ 神水教会
11月4日(月・祝) ひがしクラブ第一例会
19:00 熊本テルサ
11月15日(土) 日野原重明先生103歳記念講演
「いのちを守り、平和を築く」
13:00 市民会館崇城大学ホール
11月17日(月) ひがしクラブ第二例会
19:00 ながみねファミリー-YMCA
竹んぼ募金箱をご持参下さい。
11月25日(火) 熊本連絡会議
19:00 中央YMCA
11月29日(土) 八代クラブ25周年記念例会
「まだ、25歳」
15:00 八代ホワイトパレス
12月7日(日) 熊本YMCA歳末街頭募金
14:00(予定)
12月16日(火) 市民クリスマス
チャリティコンサート
陣内大蔵(じんのうちたいぞう)
19:00 くまもと森都心プラザホール

第二例会 10月18日(土) 17:00~ながみねF
横田、宮崎、門永、加藤、岩本、田上、野田
歌野、吉本、平山、中村

YMCAから 歳末募金キックオフ集会、市民クリスマスなどについてアピール。

11月例会の件 希少難病患者についての学び
EMC活動 入会候補者を横田会長が紹介した。
東ティモール支援 ファンドなどで後40万円ほど資金を集めたいのでさらに検討を。